

# 改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一  
首藤 孝治・牧田 俊之

【苦小牧子どもを虐待から守る条例】再提出を求め会派で反対！

本条例は児童虐待ゼロを目指す上で多くの市民や関係者が待望する意義深い大切な条例です。しかし北光町の幼児遺体遺棄事件という非常に痛ましい事件が発生したにも関わらず、市民からの通報の存否も明らかにせず、市の対応については一切の説明がありません。本条例は今議会で成立しなければ児童相談複合施設の開設や今後の児童虐待への対応に支障をきたすものではないことも質疑で明らかになりました。真に児童虐待ゼロを目指すためには本事件の市の対応の検証と説明責任を果たし、条例の再点検をした上で再提出することを求め反対しました。



牧田俊之議員

東港区に温度管理型冷凍冷蔵倉庫が完成しました。市長のフードポ

## 【企業誘致】

近年、製造業関連の新規企業進出は苦戦している中、

物工場の進出は今後の成長分野であり、苦小牧港周辺の食関連産業の進出に期待しています。

## 【カーボンニュートラル】

苦小牧市の水素エネルギープロジェクトはCCS実証試験における30万トンの圧入を達成し、メタノールを合成するカーボンリサイクルの実証試験実施に向けた検討が行われ、苦小牧CCUS・カーボンリサイクル促進協議会へ改組しています。連携の可能性が期待される市内企業も新たに会員として参加し、FCVや水素ステーションの設置については、国などの動向を注視し検討を行いたいと考えています。



首藤孝治議員

## 【家庭ごみの戸別収集】

平成28年7月から14地区3千世帯をモデル

地区に指定し実施している戸別収集について、この度のコロナ禍の影響や収集コスト及び人材確保などを考慮すると現時点で全戸への拡大は困難であり、市は一時凍結の判断をしましたが、私は凍結で

はなく中止すべきと考えています。

モデル地区は検証が継続され、毎年9千万円ほどの費用が必要になるとや全戸に拡大した場合、さらに3億5千万円以上の事業費が必要であり現況では難しい状態であることを指摘しました。この費用を削減し、コロナ禍で大変な思いをしている市民や事業者に対応策事業費へ振り替えるべきと訴えましたが、市は今後の凍結期間2〜3年間モデル地区の検証を続けることを理解してほしいなどの答弁がありました。



越川慶一議員

## 【苦小牧駅前の再整備】

今後の苦小牧市は少子高齢化の進展を意識

したまちづくりがポイントになります。今回、苦小牧駅前の再整備の提案はメインとなる施設に温泉を利用した「健康増進施設（予防医療や健康づくりを図る施設で、温水プール、子どもたちが遊べる遊具などを配備し、さまざまな年代のニーズに対応できます。また、

駅前には交通の利便性が良く利用者が集まりやすいことに加え近隣宿泊施設と提携し施設利用できると観光客にも人気が出ると考えます。」を提案しました。市長は「多

世代が一緒になって楽しめる施設の視点は大変重要であり、駅前プ



松井雅宏議員

## 【新型コロナウイルス】

感 染拡大と長期化に伴う生活困窮者や市民

生活及び地域経済の影響の認識を質問した上でさらなる支援策の必要性を具体的提案も交え求めました。また、この危機を全市一丸となつて乗り越える覚悟と今後の諸対策の考えや取り組み姿勢を市長が示すことよつて、厳しい年越しを迎える市民及び企業市民に勇気や希望を与えるトップリーダーとしてのメッセージの発信を求め、その取り組みを約束していただきました。